

明治初期 山形を「文明開化最先端のまち」と讃えた イザベラ・バード顕彰碑建立 ご協賛のお願い



イザベラ・バード
(1831～1904)
〈英国の旅行探検家〉

バードは、今から141年前の1878(明治11)年に東北～北海道～東京～関西を踏破し、“Unbeaten Tracks in Japan”(『日本奥地紀行』)を出版。女性異邦人が見た明治初期の日本の風景や人々の生活の様子を詳しく描写し、その業績が、現在でも高く評価されています。

特に、7泊した山形県では、米沢盆地を「東洋のアルカディア」、金山町を「ロマンチックなまち」と賞賛しただけでなく、文明開化されつつある山形のまち―県庁大通りや旧済生館本館などを誉めています。

バードが実見した「旧済生館本館」は、国の重要文化財に指定され「市郷土館」として現存しており、またその当時を描いた高橋由一の油絵や長谷川竹葉の錦絵も貴重な「宝」です。

県内のバード記念碑は5カ所(金山町、川西町、天童市、上山市、飯豊町)あり、街づくりや観光に活用されています。しかし、肝心の県都山形市にはまだありません。

市制130年を迎え、顕彰碑建立委員会では、下記要項で協賛金を募集いたします。ぜひ山形市に顕彰碑を建立するために、市民や企業・団体等の方々からの、ご協賛をよろしくお願いいたします。



旧済生館本館(現市郷土館)

《 協賛要項 》

- 建設費総予算 450万円 (内200万円は山形市予算化済み-バード顕彰碑建立支援事業-)
- 建立場所 山形市立病院済生館正門入口付近〈親水空間〉
- 協賛募金額 250万円 (企業・団体は一口3万円以上、個人は一口2千円以上)
* 顕彰碑への刻銘は、企業・団体は5万円以上、個人は3万円以上。
* 協賛者全員の名簿は市施設に保管します。
- 募金期間 令和元年8月26日(月)～11月8日(金)
- 完成予定 令和元年度内
- 募金方法 裏面の「ご協賛にあたって」をご覧ください。

イザベラ・バード顕彰碑建立委員会

会長 櫻田俊郎 (山形市立病院済生館名誉館長)
副会長 清野伸昭 (山形商工会議所会頭)
副会長 平井康博 (山形市観光協会会長)

事務局 山形市十日町三丁目3-7 023-622-5376
☆ お問い合わせ等は、下記へお願いします。
090-4552-1330 (渋谷)

バードが記した山形のまち

『イザベラ・バードの日本紀行』(時岡敬子訳 講談社学術文庫)より

人口21,000の繁栄する町であり、県都でもある山形は、ちょっとした高台にあり、それに加えて県庁が本通りの一番上というほかより抜きんできた位置にあるので、日本の町としてはめずらしく引き立っています。

政府の建物は相変わらずお菓子屋さんのような様式であるとはいえ、ベランダを足して改善されています。県庁、裁判所、附属上級学校を備えた師範学校、警察署の建物は、どれも立派な道路や見るからに裕福な街の雰囲気にかきわしいものです。

丸屋根のついた二階建ての大きい病院は、150人の患者を収容できる予定で、また医学校になることになっていますが、ほぼ完成し、非常に設備がよく、換気もとても良好です。(略)



山形市街図 高橋由一
(1881(明治14)年頃 山形大学附属博物館所蔵)

ご協賛にあたって

下記「協賛申込書」にご記入の上、**FAX023-633-9091**

「**イザベラ・バード顕彰碑建立委員会事務局**」宛お送り下さい。

その後に、**下記の銀行口座**を選んでお振り込み願います。

イザベラ・バード顕彰碑建立協賛申込書

金 円 を協賛します (口)

次の金融機関口座へ振り込みます。()内に○をおつけ下さい。

- () 山形銀行本店 店番号101 普通口座3408868
- () きらやか銀行本店 店番号001 普通口座2028716
- () 荘内銀行山形営業部 店番号160 普通口座1102706

注1 口座名義は、各行とも「イザベラ・バード^{ケンジョウヒコンリユウインカイ}顕彰碑建立委員会」

注2 お振り込み額は、協賛金額から振込手数料を差し引いた金額でお願いします。

注3 口数にかかわらず、いくらでも御協力いただければ幸いです。

○ご氏名・団体名並びに [担当者様ご氏名]

○ご住所 〒 -

○連絡先 TEL () -